

#### 4) D薬局

##### ①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 9人、事務職員 6人

集計対象とした処方箋枚数：61枚（調査日の処方箋受付枚数 195枚）

※ 2016年1月の処方箋受付枚数の実績 4,908枚

##### ②調査日1日における主たる業務区別の業務時間構成

	業務時間計(時:分)			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:30	1:00	1:30	0.6%	2.6%	1.3%
医療用医薬品の調剤業務	60:30	31:20	91:50	77.7%	80.5%	78.6%
在宅業務	4:00	0:00	4:00	5.1%	0.0%	3.4%
一般用医薬品等の販売業務	0:00	0:05	0:05	0.0%	0.2%	0.1%
医薬品情報収集及び整理	1:30	0:00	1:30	1.9%	0.0%	1.3%
医薬品等の発注・部対応	1:47	2:00	3:47	2.3%	5.1%	3.2%
医薬品等の補充	1:20	0:00	1:20	1.7%	0.0%	1.1%
しせつの整理	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
薬歴の入力	7:25	0:00	7:25	9.5%	0.0%	6.4%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開け・日計表作成	0:00	0:50	0:50	0.0%	2.1%	0.7%
店内清掃・片付け	0:50	3:40	4:30	1.1%	9.4%	3.9%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
合計	77:52	38:55	116:47	100.0%	100.0%	100.0%
人数	9.0人	6.0人	15.0人			

##### ③1処方箋当たりの主たる業務区別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合
受付・薬袋準備	2:32	21.2%	2:26	22.2%	3:55	19.4%	3:11	14.0%
薬歴確認・処方箋監査	1:26	11.9%	1:21	12.4%	1:38	8.1%	2:30	11.0%
調剤	2:46	23.1%	2:19	21.2%	6:25	31.9%	7:20	32.2%
監査	3:02	25.3%	2:39	24.2%	7:06	35.3%	5:58	26.2%
薬剤交付・服薬指導	2:13	18.4%	2:11	20.0%	1:03	5.2%	3:46	16.6%
合計	12:01	100.0%	10:59	100.0%	20:08	100.0%	22:47	100.0%
処方箋枚数	61枚		55枚		3枚		3枚	

#### 5) E薬局

##### ①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 2人

集計対象とした処方箋枚数：14枚（調査日の処方箋受付枚数 18枚）

※ 2016年1月の処方箋受付枚数の実績 270枚

##### ②調査日1日における主たる業務区別の業務時間構成

	業務時間計(時:分)			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:20	-	0:20	2.1%	-	2.1%
医療用医薬品の調剤業務	6:00	-	6:00	38.3%	-	38.3%
在宅業務	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	1:00	-	1:00	6.4%	-	6.4%
医薬品情報収集及び整理	0:10	-	0:10	1.1%	-	1.1%
医薬品等の発注・部対応	0:45	-	0:45	4.8%	-	4.8%
医薬品等の補充	0:20	-	0:20	2.1%	-	2.1%
しせつの整理	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
薬歴の入力	1:20	-	1:20	8.5%	-	8.5%
会議・打合せ	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
レジ開け・日計表作成	0:40	-	0:40	4.3%	-	4.3%
店内清掃・片付け	0:20	-	0:20	2.1%	-	2.1%
棚卸	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
その他	4:45	-	4:45	30.3%	-	30.3%
合計	15:40	-	15:40	100.0%	-	100.0%
人数	2.0人	0.0人	2.0人			

##### ③1処方箋当たりの主たる業務区別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合	時間 (分:秒)	割合
受付・薬袋準備	1:25	11.2%	1:35	11.9%	0:22	4.8%	-	-
薬歴確認・処方箋監査	2:36	20.6%	2:50	21.2%	1:10	14.9%	-	-
調剤	2:57	23.5%	2:56	21.9%	3:08	39.7%	-	-
監査	2:26	19.3%	2:44	20.5%	0:35	7.5%	-	-
薬剤交付・服薬指導	3:12	25.4%	3:18	24.6%	2:36	33.1%	-	-
合計	12:37	100.0%	13:24	100.0%	7:53	100.0%	-	-
処方箋枚数	14枚		12枚		2枚		0枚	

6) F 薬局

① 調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 16 人、事務職員 7 人

集計対象とした処方箋枚数：41 枚（調査日の処方箋受付枚数 130 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 2,342 枚

② 調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:15	0:10	0:25	0.2%	0.5%	0.3%
医療用医薬品の調剤業務	56:00	12:40	68:40	52.2%	38.6%	49.0%
在宅業務	37:00	0:00	37:00	34.5%	0.0%	26.4%
一般用医薬品等の販売業務	0:10	0:10	0:20	0.2%	0.5%	0.2%
医薬品情報収集及び整理	1:30	0:00	1:30	1.4%	0.0%	1.1%
医薬品等の発注・卸対応	1:45	0:00	1:45	1.6%	0.0%	1.2%
医薬品等の補充	1:45	0:00	1:45	1.6%	0.0%	1.2%
レセプトの整理	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
薬歴の入力	8:30	0:00	8:30	7.9%	0.0%	6.1%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開け・日計表作成	0:00	0:30	0:30	0.0%	1.5%	0.4%
店内清掃・片付け	0:25	0:10	0:35	0.4%	0.5%	0.4%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	19:10	19:10	0.0%	58.4%	13.7%
合計	107:20	32:50	140:10	100.0%	100.0%	100.0%
人数	15.0人	4.0人	19.0人			

③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包化調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	1:26	14.2%	1:34	15.9%	0:37	5.2%	-	-
薬歴確認・処方箋監査								
調剤	2:36	25.7%	2:22	24.0%	4:08	34.4%	-	-
監査	3:56	38.8%	3:43	37.8%	5:22	44.6%	-	-
薬剤交付・服薬指導	2:09	21.3%	2:11	22.3%	1:54	15.8%	-	-
合計	10:08	100.0%	9:51	100.0%	12:02	100.0%	-	-
処方箋枚数	15枚		13枚		2枚		0枚	

7) G 薬局

① 基本情報

職員体制：薬剤師 4 人、事務職員 1 人

集計対象とした処方箋枚数：50 枚（調査日の処方箋受付枚数 64 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 1,507 枚

② 調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:15	0:00	0:15	0.8%	0.0%	0.8%
医療用医薬品の調剤業務	24:30	0:00	24:30	81.9%	0.0%	73.7%
在宅業務	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	1:05	0:10	1:15	3.6%	5.0%	3.8%
医薬品情報収集及び整理	0:20	0:00	0:20	1.1%	0.0%	1.0%
医薬品等の発注・卸対応	0:20	0:05	0:25	1.1%	2.5%	1.3%
医薬品等の補充	0:40	0:05	0:45	2.2%	2.5%	2.3%
レセプトの整理	0:00	0:30	0:30	0.0%	15.0%	1.5%
薬歴の入力	2:10	0:00	2:10	7.2%	0.0%	6.5%
会議・打合せ	0:10	2:30	2:40	0.6%	75.0%	8.0%
レジ開け・日計表作成	0:10	0:00	0:10	0.6%	0.0%	0.5%
店内清掃・片付け	0:15	0:00	0:15	0.8%	0.0%	0.8%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
合計	29:55	3:20	33:15	100.0%	100.0%	100.0%
人数	4.0人	1.0人	5.0人			

③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包化調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	3:47	28.8%	3:34	27.9%	2:43	21.9%	5:02	33.6%
薬歴確認・処方箋監査								
調剤	1:59	15.1%	1:57	15.3%	3:30	28.2%	1:56	12.9%
監査	3:30	26.6%	3:25	26.7%	3:10	25.5%	4:00	26.7%
薬剤交付・服薬指導	3:52	29.4%	3:51	30.2%	3:01	24.3%	4:00	26.7%
合計	13:09	100.0%	12:49	100.0%	12:24	100.0%	15:00	100.0%
処方箋枚数	50枚		41枚		1枚		8枚	

8) H薬局

①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 4 人、事務職員 3 人

集計対象とした処方箋枚数：45 枚（調査日の処方箋受付枚数 114 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 3,196 枚

②調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:40	0:30	1:10	2.6%	2.2%	2.4%
医療用医薬品の調剤業務	16:20	16:10	32:30	64.4%	70.8%	67.5%
在宅業務	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	0:22	0:00	0:22	1.4%	0.0%	0.8%
医薬品情報収集及び整理	0:25	0:00	0:25	1.6%	0.0%	0.9%
医薬品等の発注・郵対応	0:32	0:40	1:12	2.1%	2.9%	2.5%
医薬品等の補充	1:30	1:30	3:00	5.9%	6.6%	6.2%
レセプトの整理	0:00	3:00	3:00	0.0%	13.1%	6.2%
薬歴の入力	5:00	0:00	5:00	19.7%	0.0%	10.4%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開け・日計表作成	0:08	0:45	0:53	0.5%	3.3%	1.8%
店内清掃・片付け	0:24	0:15	0:39	1.6%	1.1%	1.3%
欄卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
合計	25:21	22:50	48:11	100.0%	100.0%	100.0%
人数	4.0人	3.0人	7.0人			

③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	0:21	3.2%	0:21	4.1%	0:22	1.3%	0:18	1.4%
薬歴確認・処方箋監査	1:47	16.5%	1:32	17.7%	3:10	11.2%	3:42	17.2%
調剤	2:33	23.6%	1:30	17.2%	9:55	34.9%	9:01	41.9%
監査	3:09	29.0%	2:42	31.1%	7:04	24.9%	5:04	23.6%
薬剤交付・服薬指導	3:00	27.7%	2:36	29.9%	7:51	27.7%	3:26	15.9%
合計	10:52	100.0%	8:42	100.0%	28:24	100.0%	21:32	100.0%
処方箋枚数	45枚		39枚		3枚		3枚	

9) I 薬局

①調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 5 人、事務職員 1 人

集計対象とした処方箋枚数：65 枚（調査日の処方箋受付枚数 77 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 1,380 枚

②調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	0:40	-	0:40	1.7%	-	1.7%
医療用医薬品の調剤業務	22:50	-	22:50	57.4%	-	57.4%
在宅業務	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	0:05	-	0:05	0.2%	-	0.2%
医薬品情報収集及び整理	0:45	-	0:45	1.9%	-	1.9%
医薬品等の発注・郵対応	1:05	-	1:05	2.7%	-	2.7%
医薬品等の補充	0:50	-	0:50	2.1%	-	2.1%
レセプトの整理	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
薬歴の入力	7:05	-	7:05	17.8%	-	17.8%
会議・打合せ	0:25	-	0:25	1.0%	-	1.0%
レジ開け・日計表作成	0:25	-	0:25	1.0%	-	1.0%
店内清掃・片付け	0:35	-	0:35	1.5%	-	1.5%
欄卸	0:00	-	0:00	0.0%	-	0.0%
その他	5:00	-	5:00	12.6%	-	12.6%
合計	39:45	-	39:45	100.0%	-	100.0%
人数	5.0人	0.0人	5.0人			

③ 1 処方箋当たりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	0:16	2.2%	0:16	2.5%	0:11	0.6%	0:15	1.4%
薬歴確認・処方箋監査	3:01	23.8%	2:54	26.0%	4:35	14.9%	3:51	20.2%
調剤	3:05	24.3%	1:52	16.8%	16:22	53.3%	8:04	42.3%
監査	3:45	29.5%	3:27	31.0%	7:25	24.2%	5:24	28.3%
薬剤交付・服薬指導	2:34	20.2%	2:39	23.7%	2:08	7.0%	1:30	7.9%
合計	12:43	100.0%	11:10	100.0%	30:42	100.0%	19:06	100.0%
処方箋枚数	65枚		58枚		5枚		3枚	

10) J 薬局

① 調査実施時の基本情報

職員体制：薬剤師 6 人、事務職員 2 人

集計対象とした処方箋枚数：75 枚（調査日の処方箋受付枚数 112 枚）

※ 2016 年 1 月の処方箋受付枚数の実績 3,487 枚

② 調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

	業務時間計（時：分）			構成割合		
	薬剤師	事務職員	合計	薬剤師	事務職員	合計
開店前業務	1:45	0:30	2:15	3.9%	11.1%	4.6%
医療用医薬品の調剤業務	27:30	0:00	27:30	61.8%	0.0%	56.1%
在宅業務	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
一般用医薬品等の販売業務	0:30	0:00	0:30	1.1%	0.0%	1.0%
医薬品情報収集及び整理	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
医薬品等の発注・卸対応	1:00	2:00	3:00	2.2%	44.4%	6.1%
医薬品等の補充	4:00	0:00	4:00	9.0%	0.0%	8.2%
レセプトの整理	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
薬歴の入力	9:30	0:00	9:30	21.3%	0.0%	19.4%
会議・打合せ	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
レジ開帳・日計表作成	0:00	1:00	1:00	0.0%	22.2%	2.0%
店内清掃・片付け	0:15	1:00	1:15	0.6%	22.2%	2.6%
棚卸	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0:00	0:00	0:00	0.0%	0.0%	0.0%
合計	44:30	4:30	49:00	100.0%	100.0%	100.0%
人数	6.0人	2.0人	8.0人			

③ 1 処方箋あたりの主たる業務区分別の業務時間

	全体		計数調剤のみ		一包装調剤含む		計量調剤含む	
	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合	時間 (分：秒)	割合
受付・薬袋準備	1:18	10.3%	1:15	10.6%	3:05	7.8%	1:06	8.5%
薬歴確認・処方箋審査								
調剤	2:31	20.0%	1:57	16.5%	19:01	48.2%	4:55	37.7%
監査	3:58	31.4%	3:39	30.7%	14:36	37.0%	4:25	33.9%
薬剤交付・薬案指導	4:52	38.4%	5:01	42.2%	2:45	7.0%	2:36	20.0%
合計	12:41	100.0%	11:54	100.0%	39:28	100.0%	13:04	100.0%
処方箋枚数	75枚		70枚		2枚		3枚	

(2) 10 薬局の全体的な状況

① 調査日 1 日における主たる業務区分別の業務時間構成

いずれの薬局も「医療用医薬品の調剤業務」の時間が最も多く、構成割合としては、38.3%～78.6%であった。次いで構成割合が高かったのは、「薬歴の入力」（6 薬局）であったが、「薬歴の入力」よりも、「在宅業務」（2 薬局）、「会議」と「その他」（1 薬局）が多いところもあった。

② 1 処方箋あたりの主たる業務区分別の業務時間

それぞれの薬局について、調査日の処方箋枚数は、1 か月あたりの処方箋枚数からみて標準的なものであった。1 処方箋あたりに要する時間は、9 分 50 秒～14 分 34 秒で、業務割合としては、割合にそれ程大きな差はなかったものの、「監査」の割合（全体の割合：25.3%～38.8%）が最も多かった薬局が 5 薬局、「薬剤交付・服薬指導」の割合（25.4%～38.4%）が最も多かった薬局が 5 薬局であった。

2. アンケート調査の結果

残薬等の先駆的な取組みを実施している薬局薬剤師 21 名（男性 7 割、女性 3 割）からの回答では、従前からの業務全体で業務時間が増加しているとの意見がでていたが、特に、「薬剤準備・記入」については、業務時間が増加との回答は 9.5%であったのに対し、業務時間が減少との回答は 47.6%であった。

業務時間が増加しているとの回答で、多い選択肢としては、「16 ジェネリックの説明やお薬手帳の確認」、「08 一包装調剤」、「03 薬歴確認」、「13 薬剤交付・指導」等であった。業務時間増加の理由としては、概ね全ての項

目について、業務時間増加の理由として挙げられているが、「高齢者等で一人当たりの処方される薬剤の数が多いため」が最も多く、次いで、「安全等の観点からその業務の実施時間が増えた」及び「ジェネリックが増えてきたため」であった。

業務時間減少の理由としては、「機械の進歩によるため」が最も多かった。

#### D. 考察

薬局・薬剤師のこれからの重要な業務は、薬局ビジョンにも書かれているとおり、対人業務を主体とした業務の実施である。特に、これから高齢化が進む中で、高齢者の投薬について、複数の医療機関から合計 10 種類を超えて投薬されている報告等について中央社会保険医療協議会においても議論となっており、薬剤師による多剤併用の調整等の服薬支援を実施や、医療経済も踏まえたジェネリックの使用促進、予防も含めた健康増進への取り組みの実施はますます重要となってきた。

薬局・薬剤師の業務量の現状については、1 日の業務からみた業務時間構成としては、医療用医薬品の調剤業務が最も多くなっており、6 割前後の割合が多かったが、面分業の薬局や処方箋集中率の低い薬局では、在宅業務やその他の業務割合が増え、調剤業務は 4 割前後となっている。

また、1 処方箋あたりで、主たる業務区分別の業務時間の割合をみると、割合は僅差ながらも、「監査」や「薬剤交付・服薬指導」の割合が多くなってきている。引き続き、調査を実施し、対物業務から対人業務へのシフトがどのように進んでいるか、経時的変化も見ていく必要がある。

なお、1 処方箋の全体時間は、10 薬局とい

う限られた調査対象の中では、9 分 50 秒～14 分 34 秒であったが、これは、1 薬局 40 枚で 1 薬剤師が必要としている現状に概ね合致していると考えられる。ただし、12 分を超える場合には 8 時間を超えてしまうこと、さらに、今後、対人業務にシフトする中で、1 処方箋あたりの時間が増えるのか減るのか、さらに、薬剤師の業務の見直し等の中で、引き続き検討すべきである。

分担研究におけるアンケート調査の結果からは、機械化の導入により一部の業務は効率化・円滑化されている面もあるものの、先駆的な取り組みを実施している薬局・薬剤師においては、概ね全ての業務が増加しているとの状況であり、特に、高齢者の多剤併用が進む中で、ジェネリックの説明やお薬手帳の確認、一包化調剤、薬歴確認、薬剤交付・指導業務について、その業務時間が増えている。

現在、処方箋薬の調剤を実施しようとする場合、薬剤師法において、『薬剤師でない者は、販売又は授与の目的で調剤してはならない。』とされており、処方箋受付から薬剤交付にいたる全ての業務に加え、薬歴や患者ヒアリングからの患者の薬物療法に関する状況の確認や、ジェネリックの説明等を行うとともに、残薬確認や在宅医療への積極的関与も必要になる。さらに、かかりつけ薬局・薬剤師の制度導入に伴い、調剤対応中の電話相談や窓口相談等も対応していく必要があり、これらすべてを薬剤師が実施することには限界もあり、かつ非効率的である。

今後は、機械化や ICT 化により、軽減できる業務をより明確化し、薬歴や患者ヒアリングからの患者の薬物療法に関する状況の確認、ジェネリックの説明等への業務主体の移行を進

めていかなければならない。また、業務把握にかかるタイムスタディ調査の実施に際しては、残薬確認や在宅医療への積極的関与の状況や、かかりつけ薬局・薬剤師業務の実施状況等について、十分に把握できるよう検討を進め、そのような新たな薬剤師業務の実施状況をわかりやすい形で情報提供していくことも重要である。

#### E. 結論

今回、薬局の地域や立地等での違いによる業務の違いについて現状の把握を行ったが、「患者のための薬局ビジョン」の公表、平成28年調剤報酬改定等による薬剤師業務に関する業務や制度の大きな変換の中で、今後の薬局・薬剤師の適正業務を把握するためには、対人業務や残薬対応等での業務量の増加の割合と、これまでの調剤業務で減少できる業務について、明確に把握できるよう、継続的なタイムスタディ調査等の実施が必要である。

なお、その際、今回のタイムスタディ調査での課題についても整理し、特に、残薬対応や在宅医療への参加、かかりつけ薬局・薬剤師業務の実施状況等のこれからの変化に対応し、より明確に把握できよう調査設計等を検討していくことが重要である。

#### F. 参考文献

1. 患者のための薬局ビジョン

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000102179.html>

2. 厚生労働省ホームページ、中医協資料

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12404000-Hokenkyoku-Iryouka/0000103301.pdf>

#### G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究費補助金  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)  
分担研究報告書

薬局・薬剤師の適正業務に関する調査研究  
分担研究者 益山 光一 東京薬科大学薬学部薬事関係法規教授

**研究要旨**

平成27年10月23日に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」において、薬局・薬剤師は、従来の対物業務から、在宅対応も通じた継続的な服薬状況・副作用等のモニタリング、それを踏まえた医師へのフィードバックや処方提案、残薬解消など、患者が医薬分業のメリットを実感できる対人業務へのシフトを図ること、さらに、薬局におけるタイムスタディ調査を実施し、調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握することについて言及されている。

そのため、薬局・薬剤師の業務実態に向けて、タイムスタディ調査の実施を行っているが、タイムスタディ調査に関しては、薬局における業務実態の概要について把握することができる一方、調査内容が部分的ないし限定的な実施になることや調査対象数が限定されること等の課題もある。

本分担研究では、「患者のための薬局ビジョン」の公表後の状況下において、今後の薬局・薬剤師の適正業務について、今回のタイムスタディ調査で把握できなかった点や今後タイムスタディ調査で把握すべき点について検討を行うべく、残薬対応等の先駆的な取組みを実施している地区薬剤師会のメンバーからのアンケート結果、過去のタイムスタディ調査結果等を踏まえ、その内容適正化可能な業務内容や今後の薬局業務のあり方について検討を行った。

**研究協力者**

菅原健太 東京薬科大学薬学部学生

務実態の概要について把握することができる一方、調査内容が部分的ないし限定的な実施になることや調査対象数が限定されること等の課題もある。

**A. 研究目的**

平成27年10月23日に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」において、薬局・薬剤師は、従来の対物業務から、在宅対応も通じた継続的な服薬状況・副作用等のモニタリング、それを踏まえた医師へのフィードバックや処方提案、残薬解消など、患者が医薬分業のメリットを実感できる対人業務へのシフトを図ること、さらに、薬局におけるタイムスタディ調査を実施し、調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握することについて言及されている。

そのため、薬局・薬剤師の業務実態に向けて、タイムスタディ調査の実施を行っているが、タイムスタディ調査に関しては、薬局における業

本研究では、従来の調査方法も加味した薬局・薬剤師のタイムスタディ調査に、今後の課題となる視点や自由記載でのアンケートを、地区薬剤師会として、残薬対策等の先駆的な取組みを実施している薬剤師の協力を得てトライアル的に実施し、その回答結果について考察し、タイムスタディ調査において、調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握するための今後の調査方法及び、薬剤師の適正業務への移行に向けて必要な対応等の検討を行った。

**B. 研究方法**

タイムスタディ調査と並行し、タイムスタディ調査項目とリンクした項目を主として、今後

の薬剤師に必要な内容を先駆的に取組んでいる地区薬剤師会の薬剤師に依頼し、下記の【アンケート】を実施した。

なお、今回のアンケートは、今後の「患者のための薬局ビジョン」の課題として挙げられている「調剤技術の進展、機械化の状況など、最新の状況に応じた薬剤師業務の実態を把握」に向けて必要な調査項目の検討に向けてトリアル的に実施した。

#### 【アンケート】

回答者には、薬局薬剤師歴と性別の記載をお願いし、下記の3つの問に回答をお願いした。

問1. あなたの薬局の業務について、ここ最近（2～3年）、業務時間が増えてきていると感じる業務、減ってきているものを選んでください。選択数に制限なし。

- 0 1 処方箋受付
- 0 2 処方箋監査
- 0 3 薬歴確認
- 0 4 医師への疑義照会
- 0 5 薬袋準備・記入
- 0 6 計数調剤
- 0 7 計数調剤後の監査
- 0 8 一包化調剤
- 0 9 半割調剤
- 1 0 自家製剤による調剤
- 1 1 計量調剤
- 1 2 最終監査
- 1 3 薬剤交付・指導
- 1 4 調剤記録作成
- 1 5 在宅業務
- 1 6 ジェネリックの説明やお薬手帳の確認
- 1 7 その他

問2. 増えてきているものを選択された方はお答えください。（複数回答可）

増えてきている理由は何だと思いますか。該当するものに○をつけてください。

- 0 1 高齢者等で一人当たりの処方される薬剤の数が多いため
- 0 2 安全等の観点からその業務の実施時間が増えた。
- 0 3 ジェネリックが増えてきたため。
- 0 4 患者の要望等が増えてきたため
- 0 5 在宅患者が増えてきているため。
- 0 6 その他（以下に自由にお書きください）

問3. 減ってきている理由は何だと思いますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- 0 1 機械の進歩によるため。
- 0 2 同じ患者で特に説明や質問が必要なため
- 0 3 多様な薬剤が増えたため。
- 0 4 自家製剤を実施しなくなったため。
- 0 5 その他（以下に自由にお書きください。）

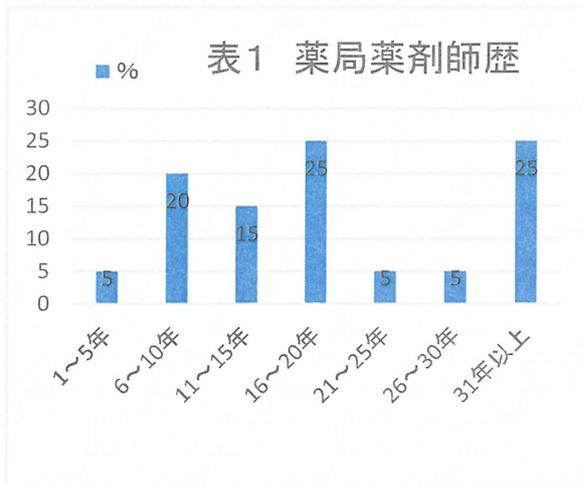
#### C. 結果

##### 1. アンケートの結果

結果は次のとおり。

##### (1) 回答者について

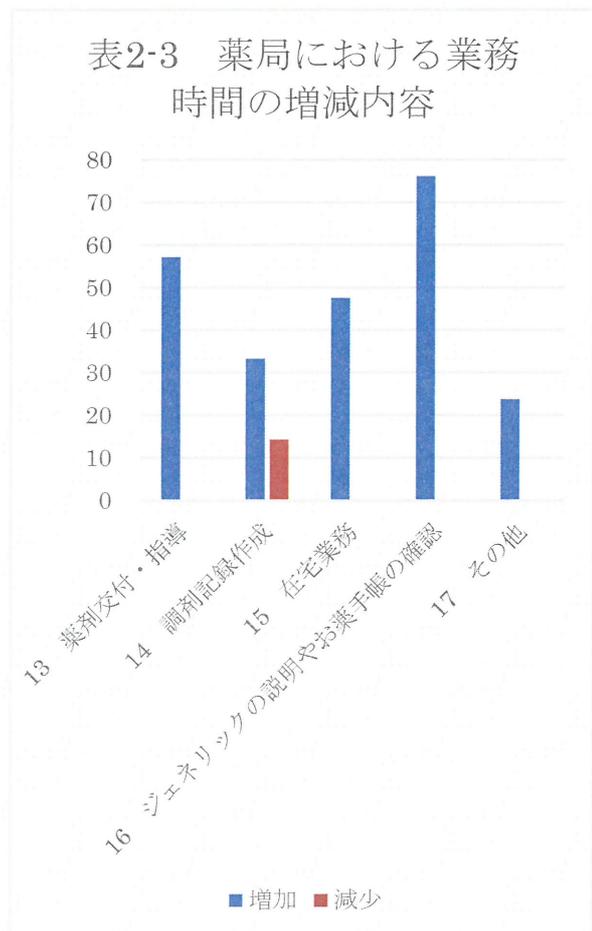
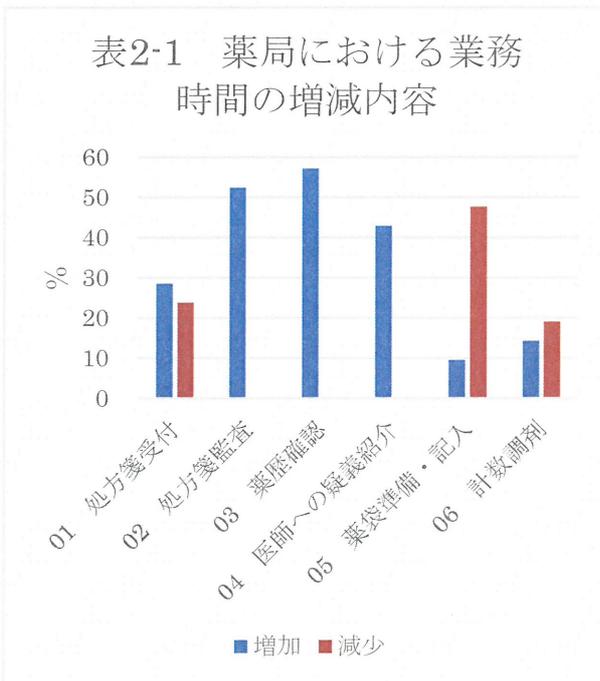
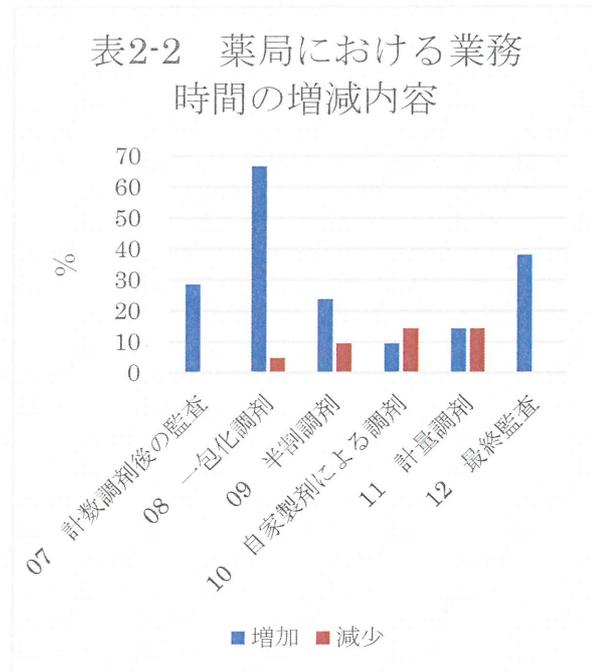
アンケート調査は、滋賀県薬剤師会、福岡市薬剤師会、鹿児島県薬剤師会の協力の下、残薬等の先駆的な取組みに係る薬剤師を対象として、最終的に21名に対して実施した。薬局薬剤師歴は表1のとおりで、男女の割合は、男性が7割、女性が3割であった。



(2) 回答状況について

① 薬局における業務時間の増減項目(問1)の調査結果について

調査結果については下記の表 2-1~2-3 とおり。



今回の項目について、ほとんどの項目で業務時間が増加しているとの意見がでていたが、特筆すべきは、「05 薬袋準備・記入（業務時間が増加との回答は 10%。業務時間が減少との回答は 48%で、減少に関する回答項目で最も多かった。）」、「06 計数調剤（業務時間が増加との回答は 14%。業務時間が減少との回答は 19%）」については、増加しているとの回答数よりも減少の回答数が多かった。

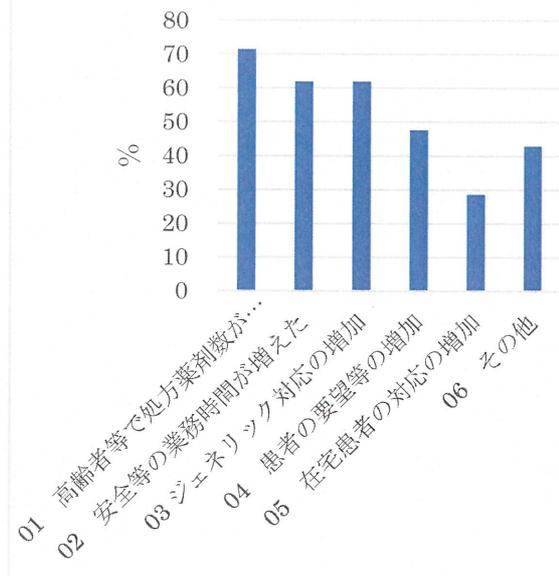
業務時間が増加しているとの回答で、選択者の多かった選択肢は、「16 ジェネリックの説明やお薬手帳の確認」が 76%、「08 一包化調剤」が 67%、「03 薬歴確認」及び「13 薬剤交付・指導」が 57%、「02 処方箋監査」が 52%、「15 在宅業務」が 48%であった。

また、「17 その他」の自由記載欄での具体的な記載内容としては、残薬調整及びアドヒアランス向上に関する取り組み、薬歴記入があった。

## ② 業務時間増加の理由（問2）の調査結果について

問1の項目に対して業務時間が増えてきている理由として該当するものを全てに回答してもらった。調査結果については下記の表3とおり。

表3 業務時間増加の理由



概ね全ての項目について、業務時間増加の理由として挙げられたが、特に、「01 高齢者等で一人当たりの処方される薬剤の数が多いため」が 71%と最も多く、次いで、「02 安全等の観点からその業務の実施時間が増えた」及び「03 ジェネリックが増えてきたため」の 62%であった。

また、「06 その他」の自由記載欄への具体的回答としては、

○残薬の整理との旨の回答が4件、

○認知力の低下や認知症患者、またその家族への情報提供にかかる時間が増えている旨の回答が3件

○業務の複雑化(具体的には調剤報酬改定についての説明や、健康食品・健康相談への対応、時間外の間合わせや電話による再度の説明)の旨の回答が3件、

○薬局へ来訪される患者が高齢化し、また一人で来られるために情報提供・相談・服薬支援が増えている旨の回答が2件

○患者や医薬品の情報収集との旨の回答が